

国道9号益田市安田地区 交通安全対策の整備効果

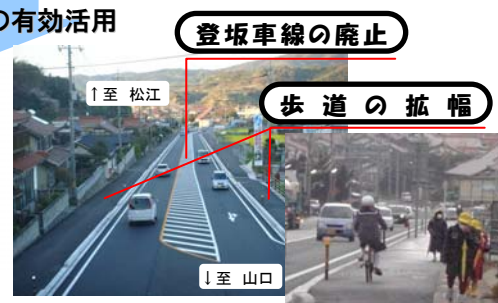
対策前の現状



- **登坂車線での接触事故が発生!**
登坂車線があるため、走行速度が高く、沿道出入り交通と本線交通との接触事故が発生。
- **歩道が狭く危険な状況!**
小・中学校の通学路に指定されており、通学時間帯には歩行者と自転車が輻輳し、人と自転車の事故の危険度も高い状況。



対策の実施



- ・登坂車線(山口方面)を廃止し、両側の歩道を自転車歩行者道(現況の歩道幅員を約2mから3mに拡幅)として整備
- ・登坂車線を廃止することで車のスピード超過を抑制し、中央にゼブラ帯を設けることで、右折待ちが可能なスペースを確保

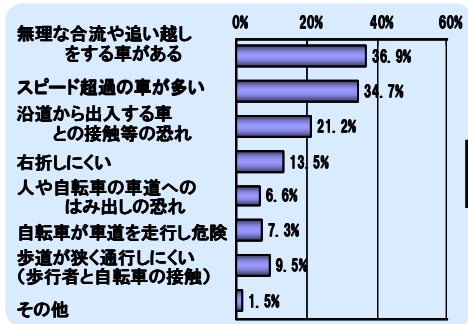
検討会の開催

H20. 8
問題点の整理・地域ニーズの把握
H20. 9~H21. 1
対策(案)の検討
H21. 2. 26
検討会
地域の意見を踏まえた対策の提示・意見交換とりまとめ。
＜検討会メンバー＞
・地元：地域住民代表者(地元自治会長、町内会)安全協議会
・警察：益田警察署
・学校：安田小学校、東陽中学校
・行政：益田市 国土交通省浜田河川事務所

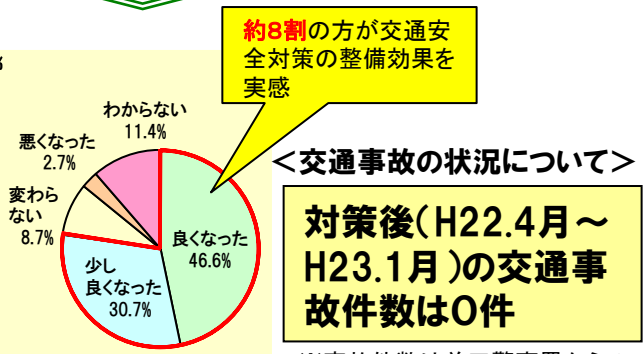
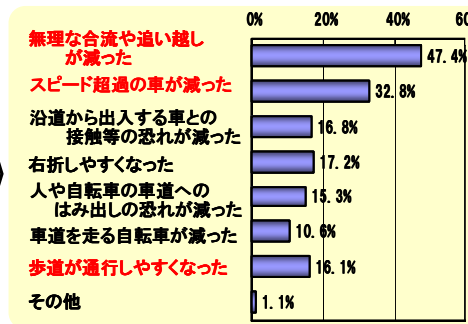


対策効果

＜整備前の状況について＞



＜整備後の状況について＞



※回答者数:274人

道路利用者の意識変化

- 「無理な合流や追い越しの減少」、「スピード超過の車の減少」等の理由により、**約8割の利用者が整備効果を実感**
- 「歩道も通行しやすくなった」ことにより、歩行者の満足度も向上